



# 地域ニーズ適う水道を

日本水工設計 理事東京支社水道部部长・理事技術本部水道統括 矢神 洋一

新年あけましておめでとうございます。当社は創立以来、半世紀にわたり「水と環境の総合コンサルタント」として、地球環境の保全および快適で安全なまちづくりに貢献してまいりました。今後とも水と環境の分野におけるアセットマネジメントの秀でた技術力とノウハウをもって、社会に貢献していきます。

厚生労働省の「水道事業の維持・向上に関する専門委員会」において、「国民生活を支える水道事業基盤強化等に向けて講ずべき施策について」の報告書が取りまとめられました。

この報告書で、水道事業をめぐる現状の課題と、課題に対する具体的な対応が挙げられています。

この中で、適切な資産管理の推進として、「台帳整備」「点検を含む維持・管理」「更新需要及び財政収支の見通しの試算並びに計画的な更新」「給水需要に見合った施設規模への見直し」等が挙がっていますが、アセットマネジメント（資産管理）の計画、実践を行うことが重要だと考えます。

水道事業が継続していくために、中長期の更新需要、財政収支見通しに基づく計画的な施設更新・資金確保を認識するためにもアセットマネジメントの実践が必要です。また、「義務付けるべき」とありますが、中小事業体では人がいない、時間がない、などの理由で実施が遅れることも考えられます。

官民連携の推進においては、水道事業を支える職員数は、これまでの徹底した組織人員の削減に加え、団塊の世代と言われた経験豊富な職員が大量に退職していることもあり、深刻な人員不足に直面しています。また、水需要の停滞による料金収入の増加が期待できない状況から、老朽化施設の更新や耐震化対策などが進捗していない状況です。

これらの課題に対応していくために、官民連携等による民間企業のノウハウを活用して効率よい水道の構築を図ることにより、経営基盤の強化を図ることが望まれます。現在、浄水場等の再構築などには、DB、DBO、DBMなどの事業が多々発注されています。今後は、水道施設の約6割を占めている水道管路の包括委託なども視野に入れることも重要だと思います。

水道事業が継続していくためには、水道事業者が危機感を持って取り組んでいかななくてはならないと思います。

最後になりますが、当社は最新技術と豊富な実績・ノウハウを基に水道事業の抱える本質的な課題を見極め、限られたヒト・モノ・カネの中で地域ニーズに適う「次世代に引き継ぐにふさわしい水道の構築」の実現に向け、水と環境の総合コンサルタントとして今後も誠実に取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくご願ひ申し上げます。